

インテック、EDI2024年問題解決に向けた 新たなEDIネットワークサービスを提供開始

～企業間取引のDX推進に向けたネットワーク移行・切り替えを強力にサポート～

TIS インテックグループの株式会社インテック（本社：富山県富山市、代表取締役社長：北岡隆之、以下インテック）は、EDI2024年問題^{*1} 解決に向け、EDI アウトソーシングサービス「EINS/EDI-Hub Nex（アインスイーディーアイハブネックス）」およびデータ連携プラットフォームサービス「TEDIOS（テディオス）」に新たなEDI ネットワークサービスを追加し、2021年4月より順次提供することを発表します。

新たに追加するEDI ネットワークサービスメニューは以下の通りです。

- ・ AnserDATAPORT®（アンサーデータポート）^{*2} 接続サービス
- ・ 閉域 IP 網ネットワークサービス（モバイル）
- ・ TLS アクセラレータ^{*3}

本サービスの提供により、インテックのEDI アウトソーシングサービス（EINS/EDI-Hub Nex）およびデータ連携プラットフォームサービス（TEDIOS）をご利用いただいているお客様、新たに本サービスをご利用いただくお客様に対して、2022年12月末までにINS ネット（ISDN 回線）・電話網を利用したEDI システムから、アウトソーシングサービス、クラウド型のEDI サービスへの移行完了を目指して推進してまいります。

■新たなEDI ネットワークサービスの特長

1. AnserDATAPORT®接続サービス

AnserDATAPORT®は株式会社NTT データが提供する、企業・自治体と金融機関の安全な取引を実現するファイル伝送サービスで、多くの金融機関が採用を予定しています。AnserDATAPORT®への接続サービスの提供により、インテックのEDI サービスの利用ユーザーは、個別に接続環境を構築するよりも簡易、迅速かつ安価に AnserDATAPORT®との接続を実現でき、より利便性の向上を図ることが可能です。

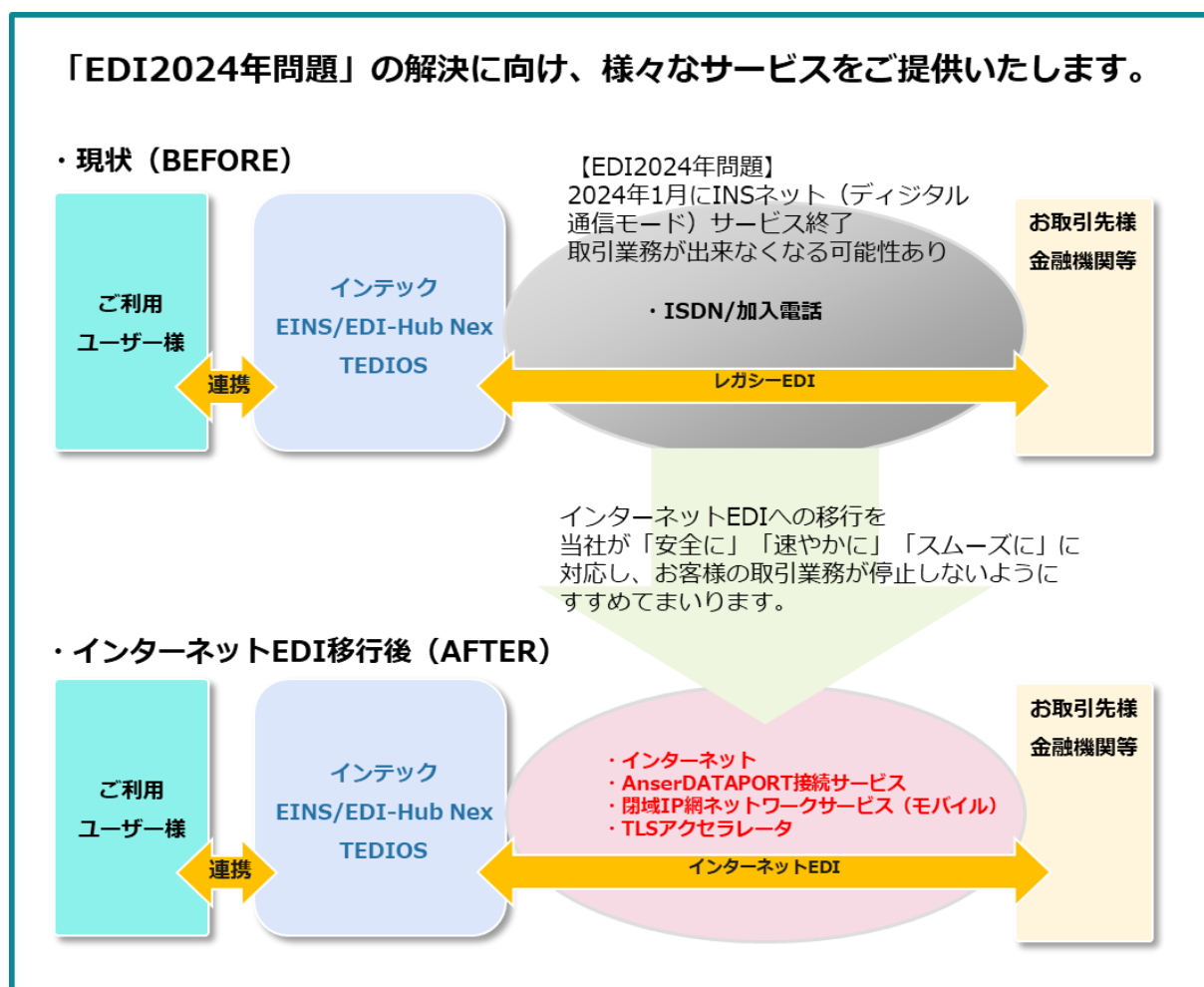
2. 閉域 IP 網ネットワークサービス（モバイル）

INS ネット・電話網に代わるネットワークインフラとして、すでに提供され専用線接続による統合型閉域ネットワークサービス^{*4}に、EDI 専用メニュー「MVNO のLTE 網^{*5}によるアクセスサービス」を追加した完全閉域モバイルネットワークです。インターネット EDI への移行が困難なお取引先向けのサービスとして、速やかな INS ネット・電話網からの移行を支援いたします。

3. TLS アクセラレータ

閉域 IP 網ネットワークサービス（モバイル）と同様に、インテックでは、インターネット EDI への移行が困難なお取引先向けに、既存環境に導入する TLS アクセラレータを利用した

通信環境構築を、パートナー企業との協業により推進する事を検討しております。
 TLS アクセラレータ導入企業は、既存の全銀TCP/IP手順システムの変更を最小限に抑えて、
 INS ネット・電話網に代わるインフラとしてインターネット EDI を利用することが可能となります。



※1 EDI2024 年問題：2024 年 1 月予定の NTT 東西による INS ネット（デジタル通信モード）のサービス終了および電話網の IP 化に伴い、既存のレガシーEDI が従来通り使用できなくなること。

詳細は NTT 東日本ホームページをご参照ください。(http://web116.jp/)

※2 AnserDATAPORT®：株式会社 NTT データが金融機関様向けに提供する、企業様・自治体様と金融機関との安全な取引を実現するファイル伝送サービスのこと。(https://www.adp.ne.jp/)

※3 TLS アクセラレータ：TCP/IP ベースの通信システムと連携し、SSL/TLS による暗号機能を提供する機器やソフトウェア。既存の全銀 TCP/IP 手順システムの変更を最小限に抑えて、速やかにインターネット対応が可能。

※4 統合型閉域ネットワークサービス：インテックが提供する統合型閉域ネットワークサービスのこと。TIS インテックグループ各種サービスとお客様 IT 環境を一つのバックボーンに統合し提供。

※5 MVNO の LTE 網：MVNO Mobile Virtual Network Operator（仮想移動体通信事業者）が提供する LTE（Long Term Evolution）サービスのこと。

■背景

現在、多くの企業が INS ネット（ISDN 回線）や電話網を利用し、受発注などの EDI（電子データ交換）による企業間取引を行っています。2024 年 1 月の「NTT 東西による INS ネット（ISDN）デジタル通信モードの提供終了および電話網の IP 化」に伴い、これらの取引業務に大きな影響が

出る「EDI2024年問題」が注目されています。

EDI を利用する多くの企業では、オンプレミス型の EDI システムからアウトソーシングサービスやクラウド型の EDI サービスへの移行の検討や切り替えを進めています。

そこで国内最大規模の EDI サービスを提供するインテックは、既存のインターネット回線を利用した EDI サービスだけでなく、新たなネットワークサービスをメニューに追加することにより、お客様と取引先との EDI による業務が円滑に移行できるようにサポートしてまいります。

■インテック EDI サービスラインアップ

・EDI アウトソーシングサービス (EINS/EDI-Hub Nex)

35年以上の運用実績を誇る、EDI 各種処理から運用・ヘルプデスク・コンタクトセンターまで兼ね備えたフルアウトソーシングサービスです。

流通業界の業界 VAN の他、メーカー・卸さまでのご利用実績が豊富です。

・データ連携プラットフォームサービス (TEDIOS)

国内外問わずあらゆる B2B 接続を可能にする EDI サービスと、豊富なアダプタ・トリガを実装し各種クラウドサービスとの連携も容易な iPaaS サービス (EAI 連携) により、システム全体をシームレスに連携するサービスです。

PCI DSS に準拠する高セキュリティなシステムでカード業界をはじめとする金融機関でのご利用の実績が豊富です。

サービスの詳細は以下をご参照ください。

<https://www.intec.co.jp/service/detail/edi/>

■今後の展開

インテックは 35 年以上の EDI アウトソーシングサービスの提供・運用実績をもとに、既存ユーザーに対して 2022 年 12 月末を目標とした INS ネットからの移行推進を行ってまいりました。本サービスメニューの強化により、既存ユーザーの移行を支援してまいります。さらに、他サービスベンダーとの相互接続等も新たに検討しており、2022 年までに 100 社の EDI サービス新規ユーザーの獲得を目指します。

※ 記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。

※ 記載されている情報は、発表日現在のものです。最新の情報とは異なる場合がありますのでご了承ください。

インテックについて (<https://www.intec.co.jp/>)

お客様の経営戦略に沿った情報化戦略の立案からシステムの企画、開発、アウトソーシング、サービス提供、運用保守まで、IT 分野において幅広く事業を展開しています。インテックは、1964 年の創業以来培ってきた技術力をもとに、AI、RPA 等のデジタル技術の活用や、新たな市場の創造にも積極的に挑戦しています。常にオープンな姿勢で、人、企業、社会を技術でつなぎ、自らも変革しながら「豊かなデジタル社会の一翼を担う」企業としてお客様に新しい価値を提供してまいります。

TIS インテックグループについて

TIS インテックグループはグループ社員約 2 万人が一体となって、強みを活かし、国内および海外の金融・製造・サービス・公共など多くのお客様のビジネスを支える IT サービスを提供しています。デジタル技術を駆使したムーバーとして、未来の景色に鮮やかな彩りをつけてまいります。

【報道関係のお問い合わせ】

株式会社インテック テクノロジー&マーケティング本部 広報室 小川、長谷、稲垣
E-Mail : press@intec.co.jp

【サービスに関するお問い合わせ】

株式会社インテック 情報流通基盤サービス事業本部 事業推進部 担当：竹内、湊本
E-Mail : edi_info@intec.co.jp